

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	若者が地域に自分の出番を創る製革学習
事業主体 (連絡先)	特定非営利活動法人ぱーむぼいす (0269-67-0415)
事業区分	(3)教育、文化の振興 (6)産業振興、雇用拡大 (ア 特色ある観光地づくり)
事業タイプ	ソフト
総事業費	1,022,048 円 (うち支援金 : 557,000 円)

事業内容

社会的自立に困難さを持つ若者が、鹿革鞆しの研究・実習を通じ技術的・精神的にこの地域での自分の出番を創るためのきっかけとした。

- ① 生徒による製革技術の習得
鹿革 10 枚を製作した。
- ② 事業展開の枠組み作り
(A) 長野県立大学ソーシャルイノベーション創出センターの教員と革製品の制作や販売につなげていくための枠組み(スキーム)作りに取り組んだ。(対面指導 8/31、12/24 計2回)
- (B) 地域づくり NPO 団体と革製品のマーケティングを視野に入れたモニタリングを開催した。(10/24、12/7、1/26 計3回)
- (C) 革製品制作に伴うブランディングデザインを作成した。



【試作品】

【目標・ねらい】

- ① 生徒による製革技術の向上
- ② 地域の多様な方々とのつながり
- ③ 製品の試験販売
- ④ 作業スペースの整備活動

事業効果

- ① 生徒による製革技術の向上
鹿革 18 枚 作業台作成、改良 鞆し用柿渋づくり
- ② 地域の方々とのつながり
「PALMVOICE LABO」13 名以上
- ③ 製品の試験販売
今年度は革職人さんに協力してもらって試作品の作成
- ④ 作業スペースの整備活動
作業参加者 18 名

※自己評価【B】

【理由】

- ① 製革学習を通して人とかわるようになり、就労につながった。(6名)
- ② 様々な人たちとのつながりができ、事業化に向けて進んだ。

今後の取り組み

- ① 事業スキーム作りの中で示された SDGs の方向性をもってローカルナチュラルリーな革づくりを目指す。地域でとれる自然素材を使った鞆し工法の開発を進める。(柔らかさ、色の追究)
- ② 地域づくりの NPO のつながりから多様な人たちとつながった。鹿革に関わって地域の多様な人たちのつながりをつくり、持続可能な事業を目指す。
- ③ 事業パンフレットや事業のロゴができた。問い合わせも増えた。学習の発表の場として販売につなげていきたい。
- ④ 生徒が周囲とのつながりを広げ、意欲的に取り組み、自信を持つようになり、就労につながる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある